

“阿賀川”で渇水へ備えます。 ～阿賀川渇水対応タイムライン（行動計画）作成～

阿賀川河川事務所では、平成6年、平成28年など、阿賀川流域で過去に度々発生している渇水の経験から今後発生する渇水被害を最小限に抑えるため阿賀川渇水情報連絡会において「渇水対応タイムライン」を作成しました。

<概要>

渇水対応タイムラインは河川・ダム管理者、水道事業者、農業関係利水者、水力発電事業者といった様々な立場の機関・組織が「大川ダムの貯水率100%～0%の状況」（シナリオ）に応じて行う「渇水の深刻度の進展、影響・被害の軽減と最小化のための対策とその時期」（行動計画）を記載しています。

<目的>

渇水関係機関のご理解・ご協力のもとで、平常時・渇水時に関係機関で地域の特性に応じた渇水による影響や被害などのリスクを共有するとともに、それに対する様々な対策を共有することで、被害の軽減と最小化を図ります。

また、渇水対応タイムラインを共同で検討、作成及び活用することにより相互の連携を強化し、阿賀川流域全体の渇水対応力の向上を目指します。

<運用について>

渇水対応タイムラインは阿賀川の特長や利水者毎の立場や実情を踏まえて、各機関などが取り得る対策を示したもので、実際の渇水調整や具体的な対応は阿賀川渇水情報連絡会で協議のうえ実施し、対応後には事後検証からタイムラインを改善するPDCAサイクルを絶えず継続します。

渇水発生時に想定されるリスクに対し、渇水タイムラインを目安に早期の対応をとることで、被害の軽減が図られると期待されます。

○阿賀川渇水情報連絡会

阿賀川の渇水時における関係利水者間の水利使用の情報連絡を円滑に行い、合理的な水利使用の推進を図ることを目的とする連絡会であり、阿賀川の水を利用している農業用水、水道水、水力発電の関係者及び河川・ダム管理者（国、県）で構成されています。

【お問い合わせ先】 国土交通省 北陸地方整備局 阿賀川河川事務所 電話 0242-26-6441

担当者名 副所長（技術） 石田 正樹 （内線204）
管理課長 服部 信 （内線331）

<阿賀川の渇水状況>

阿賀川流域において、昭和 62 年の大川ダム完成以来、冬期の降雪量不足や降雨不足等の要因によって、渇水が度々発生しています。

阿賀川河川事務所では、関係機関と渇水対応等の情報共有・調整のため、阿賀川渇水情報連絡会を開催し、限られた大川ダムの利水容量の有効活用方策を図り、関係機関のご理解・ご協力のもと渇水対策を行っています。

○過去の渇水状況



大川ダム (H28年 8月 1日)



大川ダム (H30年 7月 2日)



馬越頭首工 (H28年 7月 29日)



馬越頭首工 (H30年 7月 5日)










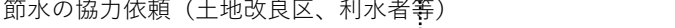


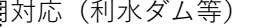


本郷大橋下流側 (H28年 7月 29日)



本郷大橋下流側 (H30年 7月 5日)

阿賀川 渇水対応タイムライン

大川ダム (貯水位) (貯水率)	対応主体	373.0	372.6	372.1	371.6	370.7	370.0	368.12m				
		100	90	80	70	60	50	40	27	20	10	0%
		貯水率 100%～80%		貯水率 80%未満～				貯水率 27%未満～ 危機的な渇水				
【 需 要 サ イ ド 】	一般住民							自主節水 				
	かんがい事業者			かんがい用水の節水、広報等 				反復利用・輪番通水体制 				
【 供 給 サ イ ド 】	河川管理者			体制構築・気象・水文情報、広報 								
	大川ダム管理者（国交省）		貯水状況、放流量調整等、貯水池等水質監視 					死水域等の取水検討 				
	水道事業者					自主節水検討・呼びかけ 		応援給水検討・実施 				
【 調 整 ・ 対 応 サ イ ド 】	国・県・市町村・利水者	渇水情報交換会 		渇水調整等連絡会（関係機関、利水者と情報共有や各種調整） 								
	国・県・市町村・利水者			節水の協力依頼（土地改良区、利水者等） 								
	国・県・市町村					渇水対策支部 検討・設置 						
	国・県・市町村・ 利水ダム等管理者				死水容量等の緊急利用対応（利水ダム等） 							

※本タイムラインは行動の目安とするため過去の渇水対応を参考に作成したものであり、実際の対応は状況をふまえ適宜調整・対応するものです。